

十二指腸乳頭部がんにおける 外科治療成績、予後因子解析、病理組織学的研究

■ 研究の対象となる方

1996年～2025年に当院で十二指腸乳頭部がん治療を受けられた方

■ 目的・方法

十二指腸乳頭部癌は、胆道癌の中でも予後良好といわれていますが、予後不良の場合も散見され、がんの進行度による影響が示唆されています。術後治療では補助化学療法が期待されますが、有効性を示すエビデンスはなく、標準的治療として確立されておられません。

今回臨床病理学的特徴の解析、予後・疫学研究を行うことで、予後不良な集団を探究し、術後補助化学療法の対象集団を絞りこむことを目的とし、研究を実施します。

研究では診療記録より必要な情報を収集し、調査・解析を行います。

■ 実施期間

2021年10月11日～2030年12月31日

■ 研究に使用する情報

年齢、性別、術前の栄養状態、手術情報、術後合併症の有無、病理組織診断など

※この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

■ お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	済生会熊本病院 外科 医長 富安真二郎（研究責任者） 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)
-----	---

以上